

平成23年に実施する患者調査の主な改正点（案）

1. 改正の趣旨

医療行政に関連する施策の推進・企画立案の基礎資料として、傷病の状況について引き続き調査を行うほか、医療行政に関連する制度の新設に対応した調査項目の追加を行うとともに、他の統計調査との重複する調査項目の是正及び記入者負担の軽減の観点から見直しを行う。

2. 調査の枠組み及び標本設計等

標本設計において、多種多様な医療機関を適切に層化する目的から、病院は施設の種類及び病床規模ごとの層から抽出を行っているが、それぞれの層のうち、対象施設数が減少し単独の層として存続する必要性が低く、調査精度上問題のない層について見直しを行う。

○病院の層化

「老人性認知症疾患療養病棟を有する病院」、「感染症病床のみの病院」、「結核病床のみの病院」、「ハンセン病療養所」の削除

3. 主な改正点

○施策立案の基礎資料とするための追加項目

- ・ 肝炎の総合対策の推進のために「肝疾患の状況」を追加
〔病院入院（奇数）票(5)、病院外来（奇数）票(5)、一般診療所票(5)、病院退院票(7)、一般診療所退院票(7)〕
- ・ 再入院の状況について、患者の動向と併せて把握するために「過去の入院の有無」を追加
〔病院退院票(4)、一般診療所退院票(4)〕
- ・ 「入院前の場所」について、患者の動向を地理的に詳細に把握するため入院前の所在地を追加
〔病院退院票(10)〕
- ・ 「退院後の行き先」について、患者の動向を地理的に詳細に把握するため退院後の所在地を追加
〔病院退院票(14)〕

3. 主な改正点（続き）

○記入者負担の軽減の観点から変更

- ・「過去の入院の有無」については、医療政策への活用には有効な調査項目として退院票に追加したため、病院入院（奇数）票、一般診療所票から削除
〔病院入院（奇数）票H20(4)、一般診療所票H20(4)〕
- ・「診療費等支払方法」の選択肢を統合し、正式名称ではわかりにくい選択肢は一般的な略式名称へ変更又は補足説明を追加
〔病院入院（奇数）票(6)、病院外来（奇数）票(6)、一般診療所票(6)、歯科診療所票（6）、病院退院票（8）、一般診療所退院票（8）〕
- ・病院の「病床の種別」の「老人性認知症疾患療養病棟」は出現数が少ないため統合整理
〔病院入院（奇数）票（7）、病院退院票（9）〕
- ・「救急の状況」について記入しやすいように選択肢の整理及び項目名を「来院時の状況」へ変更
病院入院（奇数）票(9)、病院外来（奇数）票(8)、一般診療所票(8)、病院退院票(11)、一般診療所退院票(11)〕

○調査項目の整理

- ・「副傷病名」の選択肢のうち出現数の少ない「糖尿病（性）足病変」を削除
- ・「副傷病名」の選択肢のうち主傷病名の分類に統一するため、「糖尿病（性）網膜症」を「糖尿病（性）眼合併症」へ変更
〔病院入院（奇数）票(5)、病院外来（奇数）票(5)、一般診療所票(5)、病院退院票(7)、一般診療所退院票(7)〕
- ・「透析治療の状況」は、医療施設静態調査及び社会医療診療行為別調査により同等の情報が得られることから削除
〔病院入院（奇数）票H20(6)、病院外来（奇数）票H20(6)、一般診療所票H20(6)〕
- ・「がん治療の有無」は、医療施設静態調査及び社会医療診療行為別調査により同等の情報が得られることから削除
〔病院退院票H20(6)、一般診療所退院票H20(6)〕